11
November 2014
第727号
平成26年11月１日発行
（毎月１日発行）

［広報］

さめがわ

Public Relations SAMEGAWA

【特集】

継承


















【特集】

継承

あなたは子どもや孫たちに何を残しますか？
時代が移り変わっても、ここ鮫川村で
古くから受け継がれてきたものがあります。
今月号では、その魅力や現状を探ります。
未来へつなぐために――





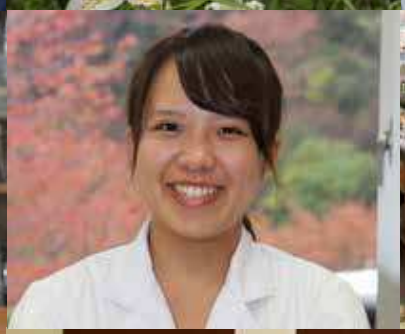

















文化財
Cultural assets

村指定無形民俗文化財「渡瀬の獅子舞」

集落で守り続けた伝統芸能 再び獅子が舞う日のために


出番を待つ獅子頭

豊作の秋に奉納 集落に一体感をもたらす

文化財は、長い歴史の中で生まれ、現代にそれを伝える宝です。現在、村には県指定文化財が2つ、村指定文化財が9つあり、当時の様子を伝える貴重な資料となっています。

村指定文化財の中でただ1つ無形のものが存在します。昭和48年に無形民俗文化財に指定された「渡瀬の獅子舞」です。渡瀬の江竜田集落に古くから伝わる伝統芸能で、豊作の年の秋祭りの日に、渡瀬区の熊野神社、北野神社、観音寺、区長宅で奉納することになっています。花笠が奏でる笛の旋律に合わせて獅子や鉦（かね）の役、道化などが舞い、豊作に感謝します。

江竜田獅子舞保存会長を務める芳賀元治さんは、小学校低学年のときに初めて鉦の役を演じ、以来、獅子、花笠を経験し、後継者の指導にも尽力しました。「教える方も必死だったし、演じる方も覚えなければいけないと一生懸命でした。一体感があったように思います」と振り返ります。練習は数カ月間、毎晩行われました。指導者が笛の旋律を口ずさみながら舞を教え、その傍らでは、女性たちが小道具などの準備に精を出しました。


江竜田獅子舞保存会長
芳賀元治（もとはる）さん
（渡瀬字江竜田・70）

「残したい」という思い 後継者がいない現状

獅子舞は、江竜田集落の長男が代々受け継いできました。雄獅子、中獅子、雌獅子、鉦の役は集落内の少年が演じることになっています。つまり、同年代の男児が4人そろわなければ、演じることができません。しかし、少子化で子どもは減少し、平成13年の秋祭りが最後の舞台となっています。

「村文化財に指定された当時は、現状のようになるとは想像もできなかったでしょう。子どもが多いときは、舞い手に選ばれることが名誉に思えた時期もあったくらいです」と話します。

平成13年、危機感を抱いた保存

■県指定文化財

種別	名称	指定年月日	所在地
重要文化財	木造薬師如来立像（1躰） 木造金剛力士立像（2躰）	昭49・5・7	富田字彦次郎210
天然記念物	西山のイチイ	昭28・10・1	西山字宝木54

■村指定文化財

指定番号	種別	名称	指定年月日	所在地
1	無形民俗	渡瀬の獅子舞	昭48・1・10	渡瀬字江竜田
2	史跡	渡瀬村救荒修祭記碑	昭51・8・14	渡瀬字木之根88－2
3	史跡	追分石	昭51・8・14	西山字折戸156
4	史跡	越惣太郎就縛の地	昭51・8・14	渡瀬字北中ノ町126
5	有形	木造揚柳観音菩薩坐像	昭54・3・29	赤坂西野字大塩
6	有形	切石観世音	昭54・3・29	赤坂西野字上93
9	有形	折戸阿弥陀三尊像	昭60・6・20	西山字折戸172
10	有形	富田薬師堂	昭60・6・20	富田字彦次郎210
11	有形	赤坂家長屋門	昭60・6・20	渡瀬字木之根60





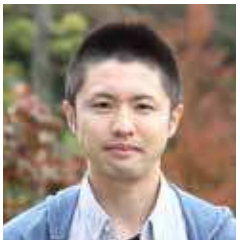
上／平成13年に開催された「うつくしま未来博」で舞を披露しました
下／演目ごとに音色が異なる笛は獅子舞の優雅さを演出します

会と村教育委員会は、文化財である獅子舞を後世に伝えるため、舞の一部始終を映像化しました。しかし、「記録として残すことはできても、人から人へ教えていかなければ継承は難しい」と危惧します。長い年月、江竜田集落の人たちが守り続けてきた舞や笛の音色は、映像だけでは伝えきれません。

「このままでは数十年後には指導者がいなくなり、継承が困難になることが予想されます。『獅子舞を残したい』という思いがあっても、後継者となる子どもや若い人がいない現状にもどかしさを感じずにはいられません」。

現在、保存会では年1回、笛の音合わせや道具の虫干しを行いながら、再び獅子舞を演じる日を夢みています。

Interview



芳賀　聖（たかし）さん
（渡瀬字江竜田・25）

継承に携われてよかった

中学１年生のとき、中獅子の役で獅子舞を演じました。約４カ月間、毎晩、学校が終わってから夜９時過ぎまで練習をしました。演技が約１時間と長いので、振り付けを覚えるのに苦労しました。初めに、元治さんに手本を見せてもらい、手取り足取り教えてもらいました。正直、練習は辛いときもありましたが、本番を終えたときは達成感を得ました。また、今振り返ると、無形民族文化財の継承に携われてよかったと思います。江竜田集落固有のものなので、できれば絶やしたくないです。課題はいろいろありますが、何か手伝いができればと思います。

伝統行事
Traditional events

赤坂西野区ふるさと相撲大会
時代の流れに合わせて受け継がれる活気

子どもから高齢者まで一緒になってお祭り騒ぎ

10月5日、子どもたちの笑い声や大人たちの歓声が名下地内の熊野神社に響き渡りました。赤坂西野区の恒例行事となっている「ふるさと相撲大会」です。五穀豊穣を祈願して熊野神社に相撲を奉納します。前夜には、やぐらを囲んで豊年踊りも行われています。

27歳まで相撲をとっていた藤田一夫さんは、「当時は、西野区以外でも秋祭りに相撲を奉納していました。草相撲といって、各地区の祭りを回って相撲をとったものです」と振り返ります。

当時、秋祭りといえば3日がかり。初日に豊年踊り、2日目に相撲、3日目には運動会が開催されていました。子どもから高齢者までが一緒になってお祭り騒ぎだったといいます。また、相撲は身近な競技で、村内にしこ名を持つ力士がいたほどです。祭りとなれば、近隣町村から参加する力士を含めると約40人が集まりました。「行事は一つの会合みたいなものだった」という一夫さんの言葉の通り、交流の場、また出会いの場としても活気に満ちていました。

その後、相撲大会の歴史は一度幕を閉じましたが、昭和55年ごろに青年会によって復活。その後、参加する力士が減ったことで小学生による「ちびっ子相撲」が行われるようになり、時代の流れに合わせて現在まで受け継がれています。



藤田一夫（いつお）さん
（赤坂西野字本坂・83）



伝統行事にある「田舎らしさ」を後世に

伝統行事には「田舎らしさ」があると話す一夫さん。



相撲大会復活後、一夫さんは25年間行司を務めました



今では恒例となった「ちびっ子相撲」

地域の伝統行事

赤坂西野区の秋祭り以外にも、各地域で受け継がれてきた伝統行事があります。その一部を紹介します。

皆さんの地域には、どのような伝統行事がありますか。

【盆踊り】



やぐらを囲んで踊る参加者

盆踊りは、お盆に帰ってきた先祖の霊を慰めて送り出すための行事といわれています。村内では、開催する地域が減り、現在は戸草集落のみで行われています。

【秋祭り】



子どもみこし（中野八幡神社祭礼）

五穀豊穣、無病息災、家内安全などを祈願します。西山区・富田区では豊年踊りが行われ、西山区は仮装も行われています。また、中野八幡神社ではみこしを担ぎます。

【小正月】



餅を焼く子どもたち（どんと焼き）

地域によって名前や内容は多少異なりますが、落合集落では「どんと焼き」、真坂集落では「とり小屋」が行われています。正月飾りなどを供養し、１年間の無病息災を願います。

農作業などに汗を流して休みなく働いていた時代、祭りのときばかりは仕事をせずに体を休めました。また、娯楽が少なかったため、祭りや相撲などが楽しみの一つでした。つまり、伝統行事は昔の生活様式と密接に関係していました。だからこそ、「田舎らしさ」を感じることができるのでしょう。

「時代は変わりましたが、『田舎らしさ』がなくなってしまうのはもったいないと思います。子どもを含めて若い人が少ないという問題がありますが、打開策を見つけて続けてほしいです」と話す一夫さんの言葉に力が入ります。



迫力ある取組を披露する力士

Interview

西野区が盛り上がるように続いてほしい



薄葉大生（たいせい）くん
(赤坂西野字名下・12)

豊年踊りや相撲大会では、友達と遊べたり、おいしいものが食べられるので楽しいです。西野区が盛り上がるようにこれからも続いてほしいです。大人になったら、太鼓や笛を演奏したり、屋台をやったり、祭りの手伝いをやってみたいです。

技術
Technique

竹細工

「もの」を作り出す先人の技術を今に受け継ぐ

かつての生活必需品 それを生み出す手

落ち葉やたい肥を運ぶためのたんがら、野菜などを入れる手籠、米とぎざるなどは、日常生活や農作業に欠かすことができないものでした。しかし、技術が進歩し、物が豊かになるとそれに代わる道具が作られるようになりました。それに伴い、竹細工の需要は減り、村内に数軒あった籠屋は姿を消してしまいました。

緑川末治さんは、竹細工技術を受け継ぐ一人です。現在も作ったものを農産物加工・直売所「手・まめ・館」に納めています。「採算は取れないけど、作るのが好きだから」と笑います。

まず、材料をそろえることから始まります。竹を割り、表面が滑らかになるように削ります。このとき、幅と厚みを均等にすることが重要になります。編んだ際に、竹にかかる力が偏り折れるのを防ぐためです。そして、砂で汚れを落としてから十分に乾燥させます。この工程を経て、やっと竹が編めるのです。竹の節が角にならないように注意しながら、立体をイ



緑川末治（すえじ）さん
（赤坂東野字内ヶ竜・87）



メージして編んでいきます。何度も作っては使い心地を確かめ、さらに使いやすく丈夫にと試行錯誤を繰り返してきました。長年作り続けてきた末治さんの手つきは、まさに神業。先人が積み重ねてきた経験と技術がその手に受け継がれています。「昔は、必要な物は何でも自分で作らなきゃいけなかった。昔の人たちは頭が良かったんだよ」と、先人の知恵に感心します。

手間を惜しまない手仕事 後世に伝えたい

現在、末治さんを含めて竹細工技術を持つ人は高齢になり、若い世代に受け継がれていません。

末治さんは、昨年から村の依頼を受け、「鮫川の伝統技術伝承講座」の講師を務めています。今年10月に実施された「手籠作り」には16人が参加。竹細工技術を目の当たりにした参加者は、その技術の高さと手間を惜しまない手仕事に感嘆していました。つる籠作りが得意な蛭田吉郎さん（渡瀬字田野上）もその一人で、「つる籠は、つるの形に合わせて編めばいいけど、竹細工はそうはいかない」と少し苦戦している様子でした。

「作れるようになりたいと意欲ある人が出てくれればうれしい。自分が経験して分かることは伝えていきたい」と末治さんは熱心に指導をしていました。



末治さんから熱心に手ほどきを受ける参加者（手籠作り教室）

Interview

長年の技術は本などでは伝えきれない



柏村　孝（たかし）さん
（渡瀬字福原・67）

実際に手籠を作ってみて、とても難しかったです。互い違いに竹を編むという基本が理解できて編めるようになってきましたが、何もないところから空間を作り出すことができません。何度も練習して慣れれば少しは作れるようになるかなと感じはじめたところです。竹細工のような技術や知恵を後世に伝えないのはもったいないです。本や映像で残すことはできますが、実際にやってみないと分からないこともあります。何年もやってきた人たちの技術は、本などでは伝えきれないでしょう。竹細工は使われなくなったことでその数が減ってきたので、実用的な道具だけではなく芸術性をもたせて発展すれば、後世に残せるのではないでしょうか。次代を担う若い人たちにも教室に参加してもらって、発展させてほしいと思います。

まだまだあります！　熟練の技



わら細工
草履や円座、正月飾りのしめ縄など、さまざまな生活用具を作り出します。



和紙
楮（こうぞ）の皮とトロロアオイが原料です。非常に丈夫で、破れにくい性質があります。



つる籠
藤やアケビなどのつるを利用して作ります。一つ一つ形が異なるのが特徴です。

食文化
Food culture

郷土食

自然の恵みに感謝する保存方法と調理法





上／冬の厳しい寒さを利用して作られる凍み大根
左／地元食材がふんだんに使われている学校給食。子どもたちに食の魅力を伝える役割を担っています（昨年の「食と農の交流会」）

素朴な郷土食 その原点にあるもの

「鮫川村の郷土食」と聞いて何を思い浮かべますか。郷土食は、地域の自然環境、生活様式と深い関わりがあり、そこに暮らしてきた先人たちが長い時間をかけて作り出したものです。

「子どものころは、ジャガイモやサツマイモ、カボチャをよく食べていた。ご飯に麦やジャガイモを入れて量を増やしていたんだ。若い人にとっては昔話だね」と根本ノフさんは笑います。

郷土食の基本には、地産地消があります。

「百姓は一年中、食べ物があったんだ。春から秋までは作った米や野菜を食べて、冬は保存しておいたものでしのいだんだよ。買って食べることは滅多になかったね」とノフさん。

また、季節の行事で食べられていた郷土食も多くあります。例えば、冬至にカボチャを食べる習慣がありますが、鮫川村では小豆を加えた煮物「冬至カボチャ」がよく作られていました。カボチャは寒さに弱く、せいぜい冬至までしか食べられないため、腐らないう



根本ノフさん
（赤坂東野字葉貫・86）

ワンコインで　【鮫川の郷土料理を楽しむ会】
鮫川村の「おいしい」をいただきます！



時 11月22日(土) 正午開始
所 村公民館「大集会室」
¥ 小・中・高校生　200円
　 大人　500円
　※当日、午前10時からチケット販売

問 村企画調整課☎49-3115



ともに、健康を維持するための先人の知恵から生まれました。

多用された保存食は先人の知恵の結晶

鮫川村の郷土食の特徴として、凍み餅や凍み大根、塩漬けされた山菜など、多くの保存食が使われています。凍み餅のじゅうねんあえ、凍み大根の煮物、ふきとたけのこの炒め物など、バリエーションに富んでいます。

保存食もまた先人の知恵の結晶です。農産物ができない冬を乗り越えるために必要不可欠な技術でした。凍み餅や凍み大根など、乾燥させたものを戻すことで食材の奥深くまで調味料の味が染み込みます。また、塩漬けされた山菜は塩抜きすることで取れたてのような食感を得ることができます。

「昔はどこの家でも作っていたんだよ。親が作るのを見ながら手伝って、自然と覚えたんだ」とノフさんは振り返ります。冬になれば、軒下に凍み餅や凍み大根、芋がらなどが吊るされている光景は当たり前のものでした。しかし、近年では、その光景を目にする機会は少なくなりました。物流やインターネットなどの発達により多種多様な食べ物が流れ込み、若い人たちが郷土食を口にする機会は少なくなっています。一方、健康志向や食の安全性への関心が高まり、和食のユネスコ無形文化遺産登録などで、日本食・郷土食が見直されています。そのような流れの中で、限られた地域で食べられてきた郷土食を後世に伝えていくことは意味があることです。

「凍み大根は煮物にするとおいしいんだよ。皮をむいて切った大根を水に浸して凍みさせるだけだから、難しいことはないよ。若い人にも作ってみてほしいな」とノフさん。年が明ければ凍み大根作りに取りかかります。

↖ちに食べさせようとしたものです。また、冬至カボチャを食べると風邪をひかないといわれています。このように郷土食は、食べ物を無駄にせず自然の恵みに感謝すると

Interview



村学校給食センター
栄養技師
小川美波（みなみ）さん（23）

学校給食を通して伝えたい

鮫川村は農産物が豊富で、旬の時期に地元のものを食べられることが魅力だと思います。また、大豆やじゅうねんなど、特産品が明確なことも素晴らしいと思います。せっかく地元で作られた農産物があるので、学校給食を通して子どもたちにしっかり伝えていきたいです。さらに、「食と農の交流会」のように子どもと生産者との密な関わりは鮫川村だからできることだと思います。学校給食を通した食の指導はもちろんですが、地域の人たちに支えられて学校給食ができているということを子どもたちに伝えていきたいと思います。

自然
Nature

農村景観

一人一人の景観整備が村全体の美しさへ

美しい景観は人を呼ぶ観光資源に

田畑が耕され、草刈りが行き届いた農村景観は、村の自慢です。これを維持するためには、人が手を加えなければいけないことはいうまでもありません。

湯坐和彌さんは、熱心に景観整備に取り組む一人です。自宅庭の樹木は手入れが行き届き、多くの花が庭先を彩っています。現在、「もりづくり100年委員会」では、舘山公園内の管理作業。「宿ノ入花木を育てる会」では自身が発起人となり、中野トンネルを抜けた宿ノ入地内で主に活動し、地域の人たちと補植や草刈り作業を行っています。

「真坂集落の先輩方が景観をきれいに整備していたので、見習わなければいけないと思いました。また、福島市の花見山のように美しい景観は村外から人を呼ぶ観光資源になります」と熱心に理由を話します。

言葉ではなく行動で若い人たちに伝えたい

美しい農村景観を保つためには、継続的な維持管理が必要不可欠です。

「自分ができる限り続けていくだけです。そして、若い人たちに言葉ではなく、行動で伝えていきたいです。仕事や子育て真っ只中では、時間的な余裕がなくて難しいと思います。でも、私が先輩方の後ろ姿に影響を受けて景観整備しているように、若い人たちが退職してからやってくれると信じています」と言い切ります。

「難しいことではありません。一人一人が自分の家や庭、田畑を自分できれいに管理すれば、おのず


されている里山の景観

と村全体の景観が保たれます。きれいな生活空間は、誰もが心地良いと感じるはずです」。

和彌さん自身、「周りの人たちが一生懸命なので、少しでも追いつこうという気持ちです。近所から草刈りの音が聞こえれば、私も刈払機を出さずにはいられません」と笑います。事実、草刈りで汗を流す姿は、村内のあちらこちらで見かけます。「中山間地域等直接支払交付金制度」を活用していることが一つの要因としてありますが、「受け継いだ土地を荒らしてはおけない」という使命感に似たものがあるといいます。

「美しい農村景観は、みんなの財産です。行政に携わる人たちや各種団体が率先して村全体で守り続けるという思いを強め、取り組んでいきたいものです」と呼びかけます。



湯坐和彌（かずや）さん
(赤坂中野字真坂・72)

鮫川村フォトコンテスト写真集を制作しています

村は美しい風景や農村景観などを村内外に広く発信するため、平成21年度から「鮫川村の四季を感じる風景」をテーマに「鮫川村フォトコンテスト」を開催してきました。

現在、第１回から第５回までの入賞作品を掲載した写真集を制作しています。鮫川村の魅力を再認識できる一冊です。また、撮影地一覧も掲載し、実際に村内を巡りながら「鮫川村の四季」を感じることができます。

写真集は12月ごろの販売を予定しています。販売価格などの詳細については、改めてお知らせします。

■**問い合わせ**
村企画調整課
商工観光係
☎49−3115



Interview



福島県もりの案内人
齋須寛一（かんいち）さん
(赤坂中野字新宿・68)

子どものころから自然の役割や大切さを教えていく必要がある

美しい自然とは、あるがままの姿をいいます。川があれば魚や水生昆虫が生息し、森に入れば鳥や獣、樹木、木の実があるといったあるべきものが当たり前にある状態です。

鮫川村は、比較的美しい自然が残っていると思います。村には、いわき市を通って太平洋に流れ込む「鮫川」の源流があります。そのため、水がきれいで豊富な地域です。私が子どものころは、川からくんだ水を沸かして風呂に入っていました。その後、一時的に農薬や家庭雑排水によって水が汚れてしまいましたが、浄化槽などが整備されて改善しました。４月から10月までの７カ月間、「鮫川にカジカを呼び戻す会」で週１回の水質調査を行っていましたが、水質に問題はありません。

今後、ますます美しい自然環境が見直され、鮫川村のような所が注目を集めるようになるのではないでしょうか。そのためには、村の美しい自然を後世に守り伝えていくことが重要です。小学生のころから自然の役割や大切さなどを教えていく必要があると思います。子どものころに聞いたり体験したり、自然に親しむことで頭の片隅にでも残ってくれれば意識が変わるのではないでしょうか。外を見て視野を広げることも大切ですが、自分たちの足元をしっかり見てそこにある魅力に気づいてほしいです。


農業によって維持

Special interview ● 鮫川村を愛する人に聞く

豊かな自然を守り 独特なおもてなしの気持ちを 後世へつなげてほしい

西成典子さん［大妻女子大学教授］

懐かしさを感じる風景 豊かな食べ物

私が初めて鮫川村を訪れたのは１９９８年。第一印象は、「こんなに素晴らしい所はない」でした。以来、毎年欠かさず足を運んでいます。飽きることなく、ますます村の魅力に引きつけられています。

まずは、里山の原風景です。村内に何カ所も残っていて、どことなく懐かしさを感じます。また、広葉樹が多く植えられているので、生物多様性に恵まれていることも大きな魅力です。

さらに、道路沿いや田畑の草刈りが行き届いています。中山間地でこんなにも美しい場所はほかにないと思うほどです。これは、皆さんに感謝しなければいけません。自然は、人が手を入れなければ荒廃してしまいます。草が伸び放題の状態を「自然豊か」とはいいません。必ずしも生物がたくさんいるとは限らないのです。

今後、手入れできる人がどの程度いるのかという課題はありますが、引き続き、手入れをして豊かな自然を守ってほしいと思います。また、近年増えてきたホタルのほか、サンショウウオやカタクリ、イチリンソウ、絶滅危惧種などは鮫川村の財産ですので、残していってほしいです。

食べ物が豊かなことも魅力の一つです。農薬を減らして作られた農産物は、とてもおいしいです。以前、息子が「鮫川村の物を食べると体の中がきれいになったような気がする」と言っていたことが印象的です。また、トマト嫌いな学生が、「鮫川村のトマトはおいしい」といって食べていました。

無条件の優しさ 人と人とのふれあい

私を最も引きつけた魅力は、皆さんの人柄です。農家に民泊をしたときは、地元食材を使ったおいしい料理をたくさん出してくれたり、お土産をいっぱい持たせてくれたりしました。具合が悪い学生がいたときには、遠くの病院へ連れて行ってくれたこともありました。どうしてこんなにも心がきれいで、無条件で優しくしてくれるのだろうと不思議に思うほどです。

鮫川村に来ると、人と人とのふれあいができるので、ほっとします。これは都会では味わえないものです。これからも優しい気持ち、独特なおもてなしの気持ちを失わないでください。

村民の心を一つに ますます元気な村へ

鮫川村に住んでいると当たり前に感じるかもしれませんが、皆さんは豊かな生活をしているのです。こんなに素晴らしい場所で、心豊かに生活できることをうらやましく思います。都会に住んでいる子どもたちが鮫川村に来て学ぶことができれば、いい経験になると思います。そして、都会の子どもたちと村の子どもたちが交流できれば、さらに素晴らしいのではないでしょうか。

村民の皆さんが心を一つにして、村のことを全員で考え、ますます元気に発展していくことを願っています。



にしなり・のりこ
大妻女子大学家政学部ライフデザイン学科教授。毎年６月下旬から７月上旬にホタル狩り、９月には授業の一環として「グリーンツーリズム体験実習」、10月には「うまいもの祭り」に大学生とともに来村している。

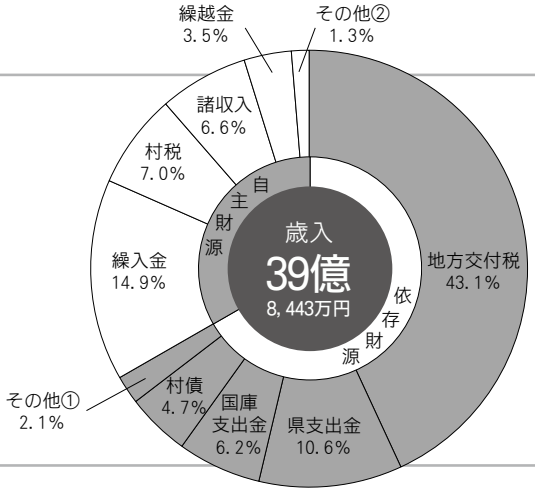


鮫川村の人と自然が
長い年月をかけて育んだ
技術、知恵、そして思いを
子へ、孫へとつなぐ

平成25年度決算報告

むらの家計簿

村の平成25年度の決算がまとまり、９月中旬に行われた第６回村議会定例会で認定されました。一般会計は、歳入が39億8，443万円、歳出が37億8，299万円で２億144万円の黒字となりました。今月は、平成25年度決算のあらましをお知らせします。



一般会計 歳入

繰入金や村税が増額し自主財源が約33％に

一般会計の歳入総額は、前年度と比較すると２億９９５２万円（７・０％）の減額となりました。これは、分担金および負担金、村債などが減ったことによります。

自主財源の中で最も多いのは、財政調整基金や東日本大震災復興基金からの繰入金で、前年度より５億５４１９万円（１３３３・９％）の増額となりました。続いて、村税が前年度より５５１万円（２・０％）の増額。これは、雇用情勢の持ち直しによる個人所得の増額により、個人村民税が増加したことなどによるものです。

次に、歳入全体の３分の２を占める依存財源では、その約65％が地方交付税です。普通交付税および特別交付税は前年度と同程度となりましたが、震災復興特別交付税が減額となったため、前年度より１００７万円（０・６％）の減額となりました。また、国庫支出金は１億７３９３万円（41・3％）の減額、県支出金は３億２６２３万円（43・7％）の減額となりました。国庫支出金の減額は、防災行政デジタル無線整備事業の完了に伴い消防防災設備災害復旧事業交付金などが減額となったためで、県支出金の減額は、県南・会津・南会津地域給付金給付事業交付金や携帯電話エリア整備事業費補助金などが減額となったことによります。

一般会計 歳出

テレビ難視聴対策などで総務費が約46％増

歳出総額は前年度に比べて３億６１７９万円（８・７％）の減少となりました。

総務費が前年度より３億８８２

■会計別決算の状況

会計別		歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		39億8,443万円	37億8,299万円	2億144万円
特別会計		13億3,885万円	12億6,213万円	7,672万円
	国民健康保険 事業勘定	4億9,449万円	4億5,125万円	4,324万円
	国民健康保険 直診勘定	7,243万円	6,284万円	959万円
	簡易水道事業	1億2,744万円	1億2,443万円	301万円
	村営バス事業	1,024万円	887万円	137万円
	集落排水事業	3,110万円	3,075万円	35万円
	介護保険	4億3,447万円	4億1,931万円	1,516万円
	交流施設	1,630万円	1,443万円	187万円
	学校給食センター	1億1,795万円	1億1,587万円	208万円
	後期高齢者医療	3,443万円	3,438万円	5万円
決算総額		53億2,328万円	50億4,512万円	2億7,816万円

お金の使いみち

村では、原発事故による放射能汚染から村民の健康を守り自然環境を再生するため、前例や慣例にとらわれることなく全ての事務事業を見直し、費用対効果を見極めて、第３次鮫川村振興計画に基づいた４つの基本政策を展開する事業を進めてきました。平成25年度に実施した主な事業を紹介します。



村道遠ヶ竜戸草線改良事業　2,484万円

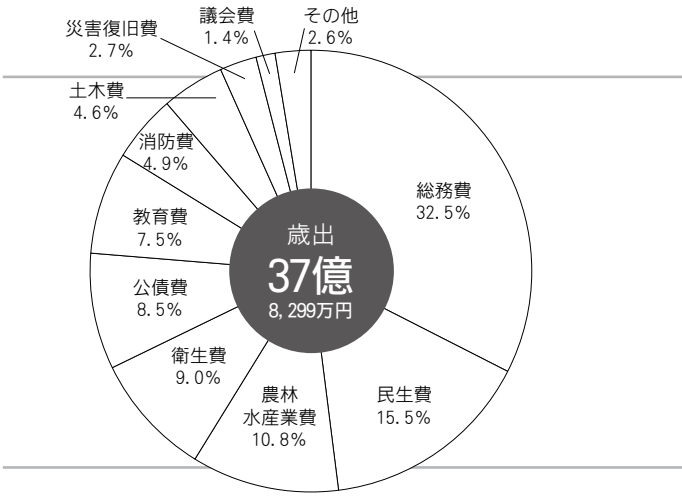
平成24年度に引き続き、遠ヶ竜地区と戸草地区を結ぶ村道を改良し、より安全に通行できる道路の整備に努めました。



保健センター太陽光発電設備等導入事業　2,791万円

停電が発生した場合でも医療を提供できるように、保健センターに太陽光発電設備と蓄電池を導入しました。

9万円（46・2％）の増額となり、全体の32・5％を占めました。次いで、民生費が2326万円（3・8％）の減額、農林水産業費が1億8157万円（30・8％）の減額となりました。総務費の増額は、テレビ難視聴対策のため辺地共聴施設整備事業などを行ったことによる支出が増加したためです。また、民生費の減額は障害者自立支援給付費などの減額、農林水産業費の減額は、豊かな土づくりセンター（堆肥センター）整備事業が完了したためです。



特別会計
全会計合わせ歳入・歳出ともに約13億円で決算

特定の事業を行うために一般会計と分けて経理する特別会計は、国民健康保険（事業勘定、直診勘定）、簡易水道事業、村営バス事業、集落排水事業、介護保険、交流施設、学校給食センター、後期高齢者医療の8つがあり、25年度は、歳入が13億3886万円（0・7％減）、歳出が12億6213万円（3・3％減）となり、7672万円の黒字となりました。

平成25年度 財政状況
健全財政を維持
財政健全化判断比率・資金不足比率を公表

地方公共団体の財政健全化に役立てることを目的に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、新しい財政指標の公表が平成19年度決算から義務付けられています。

この法律に基づき、毎年度4つの健全化判断比率（①実質赤字比率／②連結実質赤字比率／③実質公債費比率／④将来負担比率）および公営企業会計ごと（簡易水道事業・集落排水事業）の資金不足比率について、村監査委員の審査を受け、議会に報告し公表しなければならないこととされています。

本村は全ての値が基準値を下回り、実質公債費比率および将来負担比率においては前年度より値が改善されていることから、健全財政を維持していると言えます。

■財政健全化判断比率

指　標	鮫川村の指標	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率	6.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字額がないため「－」で表示
※将来負担比率は算定されないため「－」で表示

【用語解説】
■**実質赤字比率**…普通会計（本村の場合は、一般会計および特別会計の村営バス事業、交流施設、学校給食センターが該当）の赤字額の収入（標準財政規模）に対する割合■**連結実質赤字比率**…全ての会計の赤字額の収入に対する割合■**実質公債費比率**…収入に対する公債費の割合。過去3年間の平均値を使用■**将来負担比率**…将来見込まれる負債（地方債の償還金や退職手当支給予定額など）の収入に対する割合

■資金不足比率

会　計　名	鮫川村の指標	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	—	20.0%
集落排水事業特別会計	—	20.0%

※2つの会計ともに収支が黒字のため、資金不足率は生じませんでした。



西山村民体育館耐震補強事業　3,024万円

平成24年度に引き続き、西山村民体育館の耐震補強工事を行い、地震に備えて施設の安全対策を図りました。



林野火災用活動拠点広場整備事業　4,790万円

村民運動場を林野火災用活動拠点として活用するため、空中消火活動用広場と資機材保管等施設を整備しました。



消防ポンプ自動車整備事業　1,722万円

新たに第1分団にポンプ自動車を導入しました。これにより、村消防団3分団全てにポンプ自動車が配備されました。

文化祭

■期間中の催し

行事名	日　時	会　場	内　容	実施団体など
第19回 村少年主張大会	11月3日(月・祝) 午前９時～	村公民館 (大集会室)	小・中学生や高校生が日ごろ考えていること、訴えたいことを発表	村青少年健全育成推進協議会
第13回 音楽発表会	11月3日(月・祝) 午前11時ごろ		村内の小・中学生による合唱など	村教育委員会
第19回 県南女声合唱祭	11月9日(日) 午後１時15分開演	村公民館	県南地区の女性合唱団による発表	村教育委員会
奥の鮫川俳句会	11月15日(土) 午後０時30分～４時30分	村公民館 (１階会議室)	俳句愛好者の俳句発表会	奥の鮫川俳句会
奥の鮫川短歌会	11月16日(日) 午前９時30分～午後３時	村公民館 (２階視聴覚室)	短歌愛好者の短歌発表会	奥の鮫川短歌会
鮫川の郷土料理を楽しむ会	11月22日(土) 表彰式：午前10時30分～ 郷土料理を楽しむ会：正午～	村公民館 (大集会室)	各種コンテスト表彰式後、郷土料理を楽しむ会を開催	村里山大豆特産品開発プロジェクトチーム
第25回 村民駅伝競走大会	11月23日(日・祝) 午前８時15分～	開・閉会式 村公民館	７地区体育協会対抗駅伝（渡瀬字福原地区スタート、役場前ゴール。村内10区間21.17キロ） ※各区間の通過予定時刻は29ページ参照	村体育協会
ふる里文化芸能 クラブ芸能発表会	11月24日(月・振替) 午前９時30分～午後３時	村公民館 (大集会室)	加盟団体による、歌や踊りなどの発表会	ふる里文化芸能クラブ

仮設焼却施設周辺空間線量の測定結果

村仮設焼却炉監視委員会では、毎週金曜日に仮設焼却施設周辺の空間線量を測定しています。なお、仮設焼却施設周辺の空間線量測定結果と関連ファイルについては、村および環境省のホームページで公表しています。

■**問い合わせ**　村地域整備課環境係☎49-3196

■施設周辺の空間線量（10月24日実施）　［μSv/h］

	測定箇所	測定値
モニタリングポスト測定値	仮設焼却炉入口	0.10
	青生野小学校	0.10
	朝日山登山道入口	0.10
	青生野肥育組合	0.12
	鹿角平観光牧場	0.08

	測定箇所	測定値
仮設焼却炉周辺の測定値	施設東側120m	0.11
	施設南側120m	0.14
	施設西側120m	0.14
	施設北側120m	0.15
	仮置場看板付近	0.08
	石久保線起点	0.12
	石久保線終点	0.12
	和協管理棟付近	0.13

鮫川村

■期間中の展示

行事名	日　時	会　場	内　容	実施団体など
一般作品展 公民館事業作品展 高齢者作品展	11月28日(金)～ 12月2日(火) 午前9時～午後5時 ※2日は正午まで	村公民館 (大集会室など)	愛好会などの団体に属さない方の作品や公民館事業で作成した作品	村教育委員会
小・中学校 児童生徒作品展			児童・生徒の絵画、工作、家庭科などの作品	村校長会
やまぶきの会作品展			帽子のキーホルダー作品など	やまぶきの会
文化団体作品展			文化団体の皆さんの作品	アクリル画愛好会 奥の鮫川文芸クラブ パッチワーク愛好会
防火ポスター作品展			児童・生徒による防火ポスター	棚倉消防署鮫川分署
みやぎ会作品展			入所者による書道、花瓶、はり絵、ぬり絵など	社会福祉法人みやぎ会
フォトコンテスト 作品展			村の四季、自然の魅力を感じられる作品	村企画調整課

農産物等放射性物質測定結果

村内で栽培・採取された農産物等の放射性セシウム測定結果を公表します。結果はあくまでも参考値ですので、目安としてください。

また、村では現在も放射性物質の検査を受け付けています。ぜひ、ご利用ください。

【注釈】
①放射性セシウムは134と137の合算値です。
②検出限界値未満を「不検出」と表示しています。
③空欄は測定実績がありませんでした。
④同じ地区で複数ある場合は、最小値と最大値を表示しています。

9月16日～10月15日検査　［ベクレル/kg］

検査試料	赤坂西野	西　山	赤坂中野	東　石	富　田	渡　瀬	青生野
ダイコン	不検出～16	不検出	不検出		14		
ニンジン	不検出	不検出	不検出				
サトイモ	不検出	不検出	不検出				
カボチャ	不検出	不検出		不検出			
ハクサイ	不検出	不検出	不検出				
チンゲンサイ	不検出～12	不検出					
ホウレンソウ	不検出～14				不検出		
コマツナ	不検出	不検出			不検出		
サツマイモ		不検出		不検出	不検出		12
ブロッコリー		不検出		不検出			
キャベツ	不検出			不検出～18			
カキ	不検出		不検出				
キノコ類(野生)	481			77～1362			
イノシシ肉	102	77		274		27～56	53～373

■問い合わせ　村農林課☎49-3114

ふくしま駅伝 11月16日（日）午前7時40分スタート

若い力を中心に上位を目指す

第26回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は11月16日（日）、しらかわカタールスポーツパークをスタート、県庁前をゴールとする16区間、95・1キロのコースで開催されます。今年で25回目の出場となる鮫川村は、中学生・高校生の若い力を中心にチームを編成。それを大学生以上のベテランがまとめているチームです。

9月3日に行われた「ふくしま駅伝鮫川村チーム結団式」では、主将の前田大樹さんが「他チームと切磋琢磨し、村民・県民の希望になれるよう最高の走りを見せたい」と決意表明を行いました。

選手たちは大会に向けて練習を重ね、上位入賞を目指します。

村民の皆さんの応援をお願いします。

団長

大橋邦次
村体育協会長

監督

阿久津光市
村スポーツ推進委員

コーチ

舟木敏勝
ふくしま駅伝経験者

コーチ

目黒信一
村スポーツ推進委員

選手

鈴木　悟
鮫川たんぽぽの家

選手

前田大樹
棚倉消防署

選手

圓井靖彦
陸上自衛隊郡山駐屯地

選手

圓井敏彦
福島綜合警備保障

選手

矢吹潤平
神奈川大２年

選手

芳賀悠介
白河高２年

選手

目黒　司
学法石川高１年

選手

三瓶浩斗
学法石川高１年

選手

芳賀弘康
白河旭高１年

選手

鈴木　蓮
学法石川高１年

選手

須藤康太
日大東北高１年

選手

湯坐彩香
白河高１年

選手

緑川春香
学法石川高１年

選手

須藤悠太
鮫川中３年

選手

長久保拓仁
鮫川中３年

選手

生田目大輔
鮫川中３年

選手

岡部花歩
鮫川中３年

選手

増子美咲
鮫川中３年

選手

関根美可
鮫川中２年

選手

湯座真代
鮫川中２年

選手

鈴木龍聖
鮫川中２年

選手

鈴木和之
鮫川中２年

エン・ドゥ・ライフ　Vol.7

縁DO LIFE ～笑顔を力に～

緑のふるさと協力隊
遠藤敬介さんの鮫川村体験記

鮫川村の「祭りの秋」を満喫
冬の魅力を発見し、伝えていきたい

こんにちは。緑のふるさと協力隊の遠藤敬介です。秋も一段と深まり、紅葉のきれいな季節になりました。紅葉を観に行こうよう♪

さて、食、スポーツなど何でもマッチする秋になりましたが、私にとって鮫川村で感じた秋は、「祭りの秋」です。鮫川村の方々が元気なのは、どんなに忙しくても定期的に祭りを行い、酒を飲み、団結しているからだと思います。私もこれまでいくつかの祭りに参加させていただき、たくさんの方々と知り合うことができました。特に印象的だったのが、西野の相撲大会で、人生で初めてまわしをつけ、細い体を酷使して寒さに負けず、心身ともに鍛えられました。元来、鮫川村では豊作を祝い、十月一日にどの地区でも祭りを行っていたそうで、現在も地区ごとに決めた日程で続いているとのことです。消防団、収穫作業においても感じましたが、何かあればみんなで集まる団結力は、素晴らしいことだと思います。私は、一人っ子のためか都会育ちのためか単独行動が多いので、こうした団結力を見習っていきたいと思います。

楽しい秋を満喫してきましたが、もうすぐ冬になります。農作業も祭りもなくなり、寂しくなってきますが、改めて鮫川村で何ができるのか考えていきたいと思います。緑のふるさと協力隊としての活動を終えたら、農山村の魅力を伝え、農山村と都市をつなぎ、村おこしをする仕事に携わっていきたいと思っています。鮫川村の冬は何もすることがないと聞きますが、だからこそ、魅力を探し、伝えていきたいです。そのためには、情報収集が不可欠です。鮫川村へ来て多くの方々と知り合うことができましたが、もっと鮫川村に溶け込み、協力隊としての活動に従事していきたいと思っています。

緑のふるさと協力隊としての活動も残すところ三分の一ほどになりました。一生懸命に頑張っていきますので、これからもよろしくお願いします。









1．西野のふるさと相撲大会で取組をした力士の皆さんと集合写真
2．田んぼのオーナーの稲刈り作業に参加しました。手刈りに挑戦です
3．白河市で開催された「ゆるキャラフェスタ」にゆうきくんと一緒に参加して鮫川村をアピールしました
4．自宅前の風景。まさに収穫の秋

facebook

「緑のふるさと協力隊 in 鮫川村」
「いいね！」お願いします。

鎮守の森に歓声響く
赤坂西野区ふるさと相撲大会



力強い取組を披露した力士

赤坂西野区ふるさと相撲大会は10月５日、名下地内の熊野神社境内で行われました。大会には地元青年会や東京農大の学生が力士として参加し、迫力ある取組を繰り広げました。また、ちびっ子相撲も行われ、会場を盛り上げました。

２回戦で西郷村に惜敗
第１回市町村対抗県ソフトボール大会



２日間を戦い抜いた選手たち

市町村対抗県ソフトボール大会に出場した鮫川村チームは初戦を突破し、10月19日に行われた２回戦に挑み、西郷村と対戦。２回までに14点を先制されましたが、そのあと８点を奪取。結果は８対14と惜しくも敗れましたが、気迫あるプレーを見せました。

圓谷菊重さんが最高賞受賞
県日本画連盟展で村内から３人が入賞



入賞した3人と中井恒峯会長

第23回県日本画連盟展が９月３日から７日までの５日間、県文化センターで行われました。約260点が出展され、圓谷菊重さん（鬼越）が最高賞の県日本画大賞を受賞。また、高木モトさん（薄ヶ久保）が田村市長賞、中井光徳さん（広畑）が喜多方市長賞を受賞しました。

鮫川村でバナナ？
鈴木保さん宅でバナナの花が開花



バナナの花（鈴木さん写真提供）

鈴木保さん（新宿）の自宅庭に植えられているバナナの木に、２年ぶりに花が咲きました。花は５月上旬から咲き始め、寒くなるまで咲き続けるといいます。10月中旬、鈴木さんが「鮫川村では珍しいから」と花を役場に持参してくれました。

村政TOPICS

訓練の成果を披露
村消防団秋季検閲

鮫川村消防団の秋季検閲は９月28日、村青少年広場で行われました。

検閲に先立ち、赤坂東野字広畑地内十字路から青少年広場まで行進し、火災予防を呼びかけました。

検閲には団員235人が参加。無火災祈願の黙とうのあと、統監の大樂村長が訓示を述べました。続いて、通常点検や中隊訓練などが次々と繰り広げられ、団員は機敏な動作で訓練に臨んでいました。



観閲を受ける消防団員

東京都北区で物販
村の魅力をアピール

「王子銀座商店街・秋の味覚まつり」が9月28日、「ふるさと北区区民まつり」が10月4日・5日に東京都北区の各会場で開かれました。

ほっとニュース

大自然の中で食欲の秋を満喫
第27回高原の鮫川うまいもの祭り

第27回高原の鮫川うまいもの祭りは10月19日、鹿角平観光牧場で開かれ、村内外からの多くの参加者でにぎわいました。

爽やかな秋晴れの下、バーベキューをメーンに、特産品などの出店が並び、鮫川村の「うまいもの」をアピール。特設ステージでは、フリースタイルモトクロス（FMX）のデモンストレーションをはじめ、アイドルグループ「CHANCE（チャンス）」のスペシャルステージ、演歌歌手・紅晴美さんの歌謡ステージなど多彩な催しが繰り広げられ、会場を盛り上げました。





上／家族や友人とバーベキューを楽しむ参加者
左／観客を魅了したフリースタイルモトクロス

元気いっぱい駆け回る
こどもセンター親子運動会



一緒にゴールへ走る親子

さめがわこどもセンターの親子運動会は９月27日、同センター園庭で行われました。玉入れやカラーリレーなどのおなじみの種目のほか、クラスごとに工夫を凝らした種目を次々と披露。子どもたちは、家族の声援を受けながら元気いっぱい駆け回りました。

里山の収穫を体験
東京農業大学里山景観保全活動



鎌を使って稲刈りをする学生

東京農業大学の第８９回里山景観保全活動は10月４日・５日の２日間、村内で行われました。活動には、学生ら１２人が参加。宿ノ入花木を育てる会の会員の協力を得て、鎌を使った手刈りやはせ掛けを体験し、昔ながらの収穫方法を学びました。

村政TOPICS

子どもたちの作品集「こころのうた」が完成

村青少年健全育成推進協議会では、「第19回少年主張大会」「第18回こども俳句・短歌・詩のコンクール」「第７回家族への短い手紙」の作品をまとめた「こころのうた」を作成しました。公共施設などに置いてありますので、ぜひご覧ください。



作成された「こころのうた」

農協・商工会・村で構成する「ふる里振興協議会」が同イベントに参加。村内産の農産物や加工品などを販売し、鮫川村の魅力や食の安心・安全を都市部の消費者にアピールしました。



村の農産物を買い求める来場者

村民【随想】リレー ―― 196

金澤　諒さん

社会人になって



かなざわ・りょう●平成６年９月生まれ。渡瀬字福原在住。株式会社スズキ製作所（塙町）勤務。休日は友達と遊んで過ごすことが多い。モットーは「よく働いて、よく遊ぶ」

私は高校を卒業して就職し、鮫川村消防団にも入りました。

まず、就職して自分が思っていた以上に仕事は大変だなと身を持って感じました。入社して最初の１カ月くらいは、ちゃんと仕事ができるのか、自分にこの仕事が向いているのかなど不安がたくさんありましたが、仕事をしていく中で徐々に不安がなくなっていきました。今では会社の行事にも積極的に参加し、社員旅行や飲み会に行き、職場の人たちと楽しくコミュニケーションをとっています。

次に、私は消防団に入ってたくさんの事を学びました。入団したときは、面倒だなとずっと思っていました。ですが、消防団を通してあまり関わりのなかった集落の人たちと話すようになり、近所付き合いの大切さも分かってきました。消防団に入ったことで、普段だったら絶対に話さないような人や一緒にお酒を飲むことのないような人たちと楽しく話したり、お酒を飲むことができて消防団に入って良かったと思いました。

私は社会人として、仕事と消防を責任を持ってやり、少しでも社会と村のために貢献していけたらいいなと思っています。

最後に、鮫川村に住んでいる若い人が一人でも多く消防団に入ってくれることを願っています。

■

次は、宗田享子さん（赤坂東野字官代）にバトンタッチ！

俳句

コスモスや幼な日思う運動会　中井　恒峯
油蝉聞くこともなく夏過ぎ去り　北條素人坂
鉈で切る鮫川の果厚（にくあつ）かぼちゃ　松本　精一
山雀のえごの実ついばむ速さかな　前田　縫子
御嶽の紅葉一瞬灰の山　齋須　信子
遠き日の庭のコスモス想う日々　黒田　寿香
秋高し鼓笛パレード勇ましく　鈴木　米子
人界は獅子身中の虫しぐれ　土　竜庵
跡取のなき旧家の庭こぼれ桜　山本　恵子
神の山おどろおどろの秋暗し　山本五十鈴

短歌

小川まで災害予防の構造物　蛍も隠るか五月の闇に　鈴木イミ子
辿りゆく山道にして立ちて来る風さわやけし秋の近きかも　佐藤　春枝
土用三日目秋風立つと教えらる祖母の季節の詠みの深さよ　矢吹　定子
合歓の花　風に散らされ門の道薄紅色に飾りていたり　須藤　幸子
竜巻も嵐もあらぬわが里は山中なれど至福の暮らし　水野　珠子
狭い世も心の持ちよで広くなる母の教えに拘るや日々　関根　瑞恵

村全体の高齢者に交流を深める場を



すまいるサロン

村民（みんな）の店「すまいる」

昨年11月に開店した村民（みんな）の店「すまいる」では、毎月第４土曜日に「すまいるサロン」を開催しています。

店舗内の休憩スペースを活用して高齢者が集まり、童謡や語り部による民話、高齢者向けの体操などを楽しんでいます。特に無料餅バイキングが好評です。

今年５月からはじまり、少しずつ参加者が増えているといいます。語り部や餅つきをするボランティアも積極的で、内容の提案や呼びかけなどにも協力しています。高齢者とボランティアの協力があることでサロンに活気が出ています。

今後は、村全体の高齢者に参加してもらえるよう呼びかけ、みんなが集まり交流を深めてもらえるような場を提供したいと話します。また、今月で開店１周年を迎えるにあたり、２日には感謝祭が催されます。

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

クラスメイツ　前期・後期
（森絵都著、偕成社）



中学１年生24人のクラスメイトたち一人一人を主人公にした24のストーリーで思春期の１年間を描いた連作短編集。子どもじゃないけど大人でもない、そんな特別な時間の中にいる中学生たちの１年間をリアルに、そしてコミカルに描いています。

茶味空間。茶で読み解くニッポン
（千宗屋著、マガジンハウス）



「見立て」って何？「松花堂弁当」の由来とは？　茶道具はもちろんのこと、日本美術史、骨董、現代アートに至るまで幅広い知識をもつ著者による解説は「目からウロコ」。日本を深く知りたい人の必読本です。

第３土曜日は **家族一緒に読書の日**

運と言う文字は運ぶと人の云う暮らしの態度今日も顧みる　溝井　清乃
今日も又畑に来ては野菜との心の対話たのしまんとす　坂本　伊紀
慰安婦の記事も「朝日」が発という国愛の無きマスコミ一つ　一平　子
里の春原稿纏めに思い出を文字にと変える脳は鈍りて　石井　幸子
放映のアジア大会実績に私が如くに心躍らせ　須藤シツエ
貴重なる天然記念の甲斐犬のメイは月夜に哀れ天国え　前田喜三子
土手上の夫が植えたる金木犀今を盛りと匂い漂う　関根ヨネ子
人絶えて無人となりし家の屋根静かに眺む満月の夜　藤田千代子
背なを押す夕日に影が長々と畑打ち帰る吾の先ゆく　関根ハナヨ
苦労せし米の安さに迷えいる先の見えない稲作農家は　関根　富久
館山の草刈る声に湧きいずる未来に期待の花見山なる　板橋　源良
豊作の秋にはあれど採算のとれぬ米価に空しさつのる　関根キヌ子
表彰の米寿の仲間は皆元気感謝の笑顔にステック光る　矢吹　一二
豊穣の文化の秋に花咲かそう俳句短歌の大会目指し　北條　平



誕生日プレゼントなどに頼まれて作ることも多いという祐子さんの作品

あなたの光る技
キラり
Vol.28

どんぐり工作
田子祐子さん
たご・ゆうこ／赤坂西野字草牛／31歳

どんぐりが愛らしいトトロに材料集めも楽しみの一つ

どんぐりに絵付けをして帽子をかぶせるとトトロが完成します。昨年の秋、友人のお子さんが幼稚園で作ったどんぐり工作を見て、「子どもに作ってあげたい」と始めました。以前からネイルアートやラインストーンを使ったデコレーションなどが趣味で、細かい作業が好きな祐子さんは、インターネットで作り方を調べ、昨年の村文化祭に初めて作った作品を出展しました。

材料となるどんぐりやマツボックリは散歩をしながら探します。「何に使えるかな」と、材料集めも楽しみの一つだそうです。集めた木の実は、虫が出ないように煮沸し天日干し**たあと**、絵付けに取りかかります。トトロの目やひげなどの細かい部分は、爪楊枝やシャープペンシルの芯を使って慎重に描いていきます。トトロが完成すると土台に接着剤で配置していきます。

「子どもがもう少し大きくなったら一緒に作りたいです」と話す祐子さん。現在は、今年の村文化祭に向けて、クリスマスリースを土台にした作品を考え中です。



「どんな雰囲気にしようかな」「配置はどうしようかな」と考えながらどんぐりのトトロなどを土台につけていきます。

若者の広場　No.119

Young Plaza

小林大起さん

穏やかでゆっくりできる



こばやし・だいき
平成５年９月22日生まれ　21歳
Ｏ型　おとめ座
趣味はゲームとカラオケ
赤坂東野字山口在住

■今、夢中になっていることは何ですか？

家具や家電を見て回ることが好きです。最近、自分の部屋に置くテレビを買いました。

■これからチャレンジしてみたいことは何ですか？

近場で遊ぶことが多くて県外に出ることがあまりないので、友達と旅行をしたいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

鮫川村はごみごみしていないので住みやすいです。都会は時間の流れが早く感じますが、鮫川村は穏やかでゆっくりできます。あと、周りの人たちが温かいと思います。小・中学生のころ、登下校のときにあいさつをするとみんな返してくれました。

■鮫川村に要望などはありますか？

森林伐採をしないで自然をそのまま残してほしいです。あとは、高校生のときにバス通学をしていましたが、本数が少なくて不便でした。本数が増えると助かります。

■

次は矢吹飛鳥さん（赤坂東野字芦ノ草在住）の予定です。

学校だより

（121）

鮫川小学校編

秋のさめっ子大活躍！
東白川郡陸上競技大会

9月30日、さわやかな秋空の下、6年生が白河陸上競技場で素晴らしい活躍をみせました。その結果、合計10種目で入賞することができました。

結果は次のとおりです。（敬称略）▼**4×100Mリレー**（男子）第3位（女子）第5位▼**80Mハードル**（男子）第5位・佐川一樹（女子）第6位・中川西夢奈▼**1000M**（男子）第1位・円井純一▼**800M**（女子）第5位・北條佑奈▼**走り幅跳び**（女子）第6位・田子愛菜▼**走り高跳び**（女子）第5位・星朋香▼**ソフトボール投げ**（男子）第3位・薄葉大生（女子）第2位・湯座琴美

化石発掘体験

10月2日、理科学習の一環として、塙町の藤田砿業所有の露頭で本校6年生が化石発掘体験を行いました。最初に藤田社長から露頭についての説明や注意事項を聞き、約2500万年前の浅海の地層から貝化石を発掘しました。子どもたちはお気に入りの化石を求めて、夢中になって取り組みました。たくさんの化石を手にして満足顔でした。



オペラ歌手コンサート

10月3日、「魂に響くギフトコンサート」が本校体育館で行われました。全国各地で活躍するオペラ歌手の橋本妙子さんが美しい歌声を披露してくださいました。子どもたちも橋本さんの指導で発声練習をしました。アンコールでは、村マスコットキャラクター「ゆうきくん」も一緒に盛り上げてくれました。

（文・写真／鮫川小学校）



情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ案内

県民手帳・県勢要覧を販売しています

福島県統計協会発行の「２０１５福島県民手帳」「福島県勢要覧」を販売しています。希望される方は代金を持参の上、役場企画調整課または住民福祉課窓口でお求めください。

２０１５福島県民手帳▼価格…５００円（税込み）▼内容…月間ダイアリー、週間ダイアリー、統計データ（全国から見た福島県、県内市町村勢一覧など）、日常生活に役立つ便覧（災害発生時の連絡先、年齢早見表など）▼付録…主要交通路線と観光マップ

福島県勢要覧（Ｂ６判）▼価格…１５００円（税込み）▼内容…県勢全般がわかる総合統計書。県および県内市町村の最新統計資料（自然、人口、産業、所得・物価・地価、復興のあゆみなど）。

問 村企画調整課企画振興係４９－３１１５

村民保養施設さぎり荘利用時間が変わります

11月から3月までの間、村民保養施設「さぎり荘」の利用時間が変わります。なお、4月からは通常の利用時間です。

利用時間 午前9時30分～午後8時 ※入浴は、午前10時から午後7時30分までです。

休館日 毎週水曜日、12月31日～1月4日

問 村民保養施設「さぎり荘」☎４９－２２０５

農業日誌・新農家暦などを販売します

社団法人全国農林統計協会連合会発行の「農業日誌」「ファミリー日誌」、財団法人農林統計協会発行の「新農家暦」を販売します。購入を希望する方は、11月28日（金）までに役場農林課に申し込んでください。

発行は12月中旬ごろです。申し込みいただいた方には、別途通知しますので、代金持参の上、役場農林課でお受け取りください。

農業日誌（Ｂ６判）▼価格…１５００円（税込み）▼内容…農作業の参考になる最新農業情報を掲載。実用性抜群の農家に欠かせない一冊です。

ファミリー日誌（Ｂ５判）▼価格…１５００円（税込み）▼内容…「農業の記録」や日々の思い出を日記欄にたっぷりと記入できる大型サイズです。

新農家暦（Ａ５判）▼価格…５２０円（税込み）▼内容…「12カ月暦」「農作業暦」「生活便利メモ」など、月ごとの農作業に役立つ基本情報が満載。

問 村農林課農政係☎４９－３１１４

歯の日 8日は

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

11月の担当は――

鮫川小学校
保健委員会（５年生）

高木利緒さん
我妻佳奈さん
木村天音さん
須藤玲奈さん
佐川未咲さん



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247－49－3111
FAX 0247－49－2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手･まめ･館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
固定資産税：第４期
国民健康保険税：第６期
介護保険料：第６期
後期高齢者医療保険料：第４期
※納期限：12月１日(月)

information

募集

陸上自衛隊高等工科学校生徒

15歳以上17歳未満の男子を対象とした採用試験です。入校と同時に特別職国家公務員になり、通信制の高等学校教育を受けながら将来、自衛隊の技術陸曹となります。

【一般採用試験】

受付期間 11月1日（土）～平成27年1月9日（金）

試験日 平成27年1月24日（土）

会場 白河市産業プラザ人材育成センター（白河市）

【推薦採用試験】

受付期間 11月1日（土）～12月5日（金）

試験日 平成27年1月10日（土）から12日（月・祝）の指定する1日

会場 陸上自衛隊高等工科学校（神奈川県横須賀市）

その他 詳細については、自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所にお問合せください。

問 自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所☎024-24-0372

鮫川村文化祭 一般作品展作品

対象 村内居住者

募集作品 絵画・手芸・写真・陶芸・生け花・木工・竹細工・わら細工など

募集期間 10月15日（水）～11月21日（金） ※土日・祝日は除きます。

応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、作品に添えて公民館へ持ち込んでください。

展示期間 11月28日（金）～12月2日（火）午前9時～午後5時 ※最終日は正午までです。

展示場所 村公民館

その他 作品が大きいものや壊れやすいものは、直接搬入してください。その際、事前に電話で応募内容を連絡してください。また、直接搬入した方は、原則として直接搬出してください。▼搬入日時…11月27日（木）午後1時～4時

問 村教育委員会教育課☎49-3151／FAX49-3152

催し

鹿角平天文台観望会「秋のアンドロメダ銀河」

日時 11月15日（土）午後7時～

場所 鹿角平天文台（鹿角平観光牧場内）

参加費 無料（予約不要）

問 村企画調整課商工観光係☎49-3115

チャリティーアート展

日時 ▼11月15日（土）午前10時～午後5時▼11月16日（日）午前10時～午後4時

場所 生活支援センターこころん（泉崎村）

内容 絵画教室受講者の展覧会、即売会など

参加費 無料

問 生活支援センターこころん☎0248-54-1115

鮫川村民駅伝競走大会

村体育協会主催の「第25回鮫川村民駅伝競走大会」は11月23日（日）に開催されます。大会は7地区体育協会対抗で行われ、福原集会所前をスタート、役場前をゴールとする10区間、21.71キロのコースで競われます。村民の皆さんの応援をお願いします。

区	中継所	走　者	通過予定時刻
1	福原集会所前	女子フリー(中学生以上)	10：00
2	中沢入口	30歳以上男子	10：09
3	前沼バス停	小学生フリー	10：16
4	中学校入口	小学生フリー	10：20
5	役場前	男女フリー(中学生以上)	10：25
6	官沢入口資材置場	男子フリー(中学生以上)	10：30
7	岩野草入口	小学生フリー	10：41
8	宝木・折戸中間	一般男子(小中高校生以外)	10：47
9	西野区民センター	男子フリー(中学生以上)	10：56
10	草牛入口	男子フリー(中学生以上)	11：07
	役場前ゴール		11：18

問 村教育委員会教育課☎49-3151

11月30日は「年金の日」

「年金ネット」を利用すると、いつでも自身の年金記録を確認できるほか、将来の年金受給見込額について、自身の年金記録を基にさまざまなパターンを試算することができます。詳しくは、日本年金機構ホームページでご確認いただくか、白河年金事務所にお問合せください。

問 白河年金事務所☎0248-27-4161

November
11

㊡＝休日当番医　［公］＝公民館　［図］＝図書館　［保］＝保健センター
［ト］＝農業者トレーニングセンター　［こ］＝こどもセンター

火	水	木	金	土
				11/1 ●ＪＡ･商工まつり
4 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	5 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「手･まめ･館」定休日 ●「さぎり荘」定休日 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	6 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●「すまいる」定休日 ●やまゆり保育室［こ］ ●子宮頸がん・骨粗鬆症検診［保］	7 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	8
11 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	12 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●１歳６カ月児健診… 13:00 ～［保］ ●やまゆり乳児室［こ］ ●おはなしの森… 16:00～[図]	13 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	14	15
18 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	19 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●３歳児健診…13:00 ～［保］	20 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●心配ごと相談… 13:00 ～ 15:00[公] ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	21	22 ●鮫川の郷土料理を楽しむ会…正午～[公]
25 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	26 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●やまぶきの会… 10:00 ～ 15:00[保] ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	27 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●６～７カ月児健康相談…9:30 ～［保］ ●10カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:00 ～［保］	28 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●村文化祭作品展示… [公]12月２日まで	29
2 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	3 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「手･まめ･館」定休日 ●「さぎり荘」定休日	4 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●「すまいる」定休日	5	6 ●お遊戯会［こ］

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

9月届け出分・敬称略



白坂　柚乃（ゆずの）・女
平26.8.26生
住所…名下
保護者…訓・綾



金澤　心晴（こはる）・女
平26.9.3生
住所…広畑
保護者…剛士・知恵

おくやみ

9月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
名下	須藤ハナ子	9. 8	85歳
大塩	矢吹　啓	9.11	92歳
小名沢	生田目ラク	9.17	81歳

人の動き

10/1現在・（　）は前月比

人口	3,859人	（＋ 7）
男	1,951人	（＋ 2）
女	1,908人	（＋ 5）
世帯	1,167戸	（＋ 5）

寄付寄贈

9月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…関根貢（水口）　須藤一（名下）　矢吹孝二（大塩）　生田目広美（小名沢）
■**教育、歴史文化の保存に関する事業のために[金員]**…永山悦子（東京都）
■**自然環境の維持、保全、整備に関する事業などのために[金員]**…根本冨士男（東京都）
■**村長が認める事業のために[金員]**…中川西康悦（茨城県）

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

編/集/後/記

■小・中学生に「未来に残したいと思うものは」と、突撃取材をしました。すると、「田んぼ」「大豆」「祭り」「歴史」「舘山」など、次から次へと言葉が出てきました。私は子どもたちの勢いに圧倒されると同時に、「先人の思いや村の魅力が伝わっているのかな」と感じてうれしくなりました。■藤田一夫さんが言っていた「田舎らしさ」。これは伝統行事に限らず自然や食文化など、古くから受け継がれてきたもの全てに当てはまるのではないでしょうか。時代は流れても「田舎らしさ」「鮫川村らしさ」はなくしたくないと思いました。　（前田）

暮らしのカレンダー

日	月
2 ㊡木村医院（矢祭町）☎46-3528 ●「すまいる」1周年感謝祭 第1日曜日は環境美化の日	**3** 文化の日 ㊡あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●第19回村少年主張大会、第12回音楽発表会…9:00～［公］
9 ㊡大木医院（棚倉町）☎33-2424 ●親子読書教室…10:00～［図］ ●第19回県南女声合唱祭…13:15～［公］	**10** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●3～4カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院
16 ㊡ふじた循環器科内科クリニック（棚倉町）☎33-2013 ●第26回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会	**17** ●図書館休館日 ●トレセン休館日
23 勤労感謝の日 ㊡金澤医院（矢祭町）☎46-2312 ●第25回村民駅伝競走大会	**24** 振替休日 ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●ふるさと文化芸能クラブ発表会…9:30～［公］
30 ㊡東舘診療所（矢祭町）☎46-3165	**12/1** ●固定資産税などの納期限

広報 さめがわ Public Relations SAMEGAWA
11 November 2014
平成26年11月1日発行（毎月1日発行）
第727号（昭和27年9月創刊）



Happy Wedding File_12

芳賀悦男さん 真由美さん

赤坂東野字滝ノ下／平成26年６月結婚

●**奥様の出身地はどちらですか？・・・**天栄村です。
●**２人が知り合ったきっかけは？・・・**いとこの紹介です。それからできる限りのアピールをして妻を振り向かせました。
●**出会ったときのお互いの第一印象は？・・・**（夫→妻）結婚するならこの人じゃなきゃだめだ　（妻→夫）話しやすい人
●**子どもは何人ほしいですか？・・・**子どもが多ければにぎやかで明るい雰囲気になるので５人が理想ですが、最低でも男女１人ずつほしいです。
●**理想の家庭は？・・・**永遠に笑顔が絶えない家庭にしたいです。つらい状況になったとしても笑顔で乗り越えたいと思います。

こちら **村長室**

▼秋の収穫時で皆さん忙しくなってきました。今年も天候に恵まれ、豊穣の秋を迎えることができうれしいはずですが、なぜかいまひとつ喜べません。米価が大きく下落したためです。全農県部会が発表した米価は生産過剰のためとはいえ、生産費を賄えない価格です。生産者にとっては農業経営のため、暮らしを支えるための稲作栽培です。▼農業が基幹産業の我が村は、豊かな秋の実りが自慢の景観です。里山景観を保つため、中山間地で就農し継続していただけるように支援策を協議しています。▼村が目指している「有機の里づくり」「医食同源」「健康な体は健康な食べ物から」の考えを基に、安心・安全な食べ物を栽培し消費者に選んでいただけるようにと、意欲的に田や畑を耕している姿を目にしたとき、農家の皆さんがより豊かな暮らしができるように力になり支えなければと心新たにしています。春の種まきから秋の収穫までの「粒粒辛苦」の農業の営みが報われるときが来ると信じ、村政に取り組んで参ります。

大樂勝弘

発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画調整課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5